

周知することはできないか。



塩出 麻里子
(北九州市小倉南区)

フェーズフリーという概念を県防災アプリを使い広く

要望していく。望。国で栄養教諭の配置基準引き下げの検討を進めると聞いており、今後にも必要な改善を国に

について教育長に伺う。



稲又 進一
(北九州市門司区)

栄養教諭の配置と全校配置に向けた国への要望の進捗

公明党

多くの革新的なスタートアップ誕生が期待される。これらの成長により関連企業の集積や県内企業の参入が進み、県全域の地域経済の活性化につながって欲しい。

の期待を伺う。



坪田 晋
(福岡市博多区)

「九大イノベーションチャレンジファンド」の目的と知事

は対応が困難な事案に対し、専門家による緊急支援のため、弁護士、医師、臨床心理士、警察OBおよび学識経験者の5名で構成する支援チームを設置。自殺事案でも、学校からの要請に応じ、専門的な助言を受けられる。また生徒や遺族の心のケア

育長に伺う。



井上 寛
(久留米市・うきは市)

自殺事案が発生した際の専門家による支援について教

いる。今後はモデル事業の成果を周知するとともに支援情報が必要な方に届くよう、情報発信の在り方を考え、保護者の悩みに寄り添った支援の充実につなげる。

見を伺う。



川上 多恵
(福岡市博多区)

不登校児童生徒の保護者への支援について教育長の所

県民が普段からしつかりと災害へ備えることは大変重要。そのため、県防災アプリ「ふくおか防災ナビ・まもるくん」や県防災ホームページで、日ごろからの備蓄、避難場所や避難経路、家族との連絡方法の確認などを呼びかけ、フェーズフリーの視点から「ローリングストック」についても周知。今後も災害に対する備えが進むよう県防災アプリなどを活用しフェーズフリーの考え方、事例の周知を図る。

新政会



堀 大助
(行橋市)

街路樹の維持管理には専門家の活用が重要と考えるが

が必要な場合は、スクールカウンセラーの緊急派遣を行っており、今後も専門家や関係機関と連携を図り、事案発生後の学校の対応を支援する。

多くの小中学校で給食時間にALTと会話したり、校内放送を英語のみで行う日を設けたりする環境をつくっている。留学生などを招待し国際交流イベントをする学校もある。授業以外で英語に触れることは、授業での英語を実際の場面で活用し、習得する貴重な経験で、英語学習の意欲を高める良い機会になる。本県でも夏休みに外国人と英語のみでコミュニケーションを図る宿泊体験型のプログラムを計画している。



大塚 絹子
(北九州市八幡東区)

英語の授業以外での英語に触れる機会について教育長

「造園施工管理技士」や「街路樹剪定士」を有する造園業者に依頼。今後とも幅広い専門知識と技術を持つ専門家の協力を得て街路樹の適切な維持管理に努める。

県では、良好な景観維持や安全な交通のため職員による点検を実施。樹木の衰えや害虫などが見られる場合は「樹木医」が診断し、早期対応により樹木内部の空洞化や腐食を原因とした倒木、枝の落下被害の未然防止に努めている。剪定では、樹木に精通した「造園施工管理技士」や「街路樹剪定士」を有する造園業者に依頼。今後とも幅広い専門知識と技術を持つ専門家の協力を得て街路樹の適切な維持管理に努める。

令和7年度暫定予算の概要

予算関連の詳細につきましては、県ホームページをご参照ください。



令和7年度当初予算については、知事選挙の関係から、4月から7月までの4カ月間に必要な行政運営経費等を計上する「暫定予算」となります。ここでは、2月定例会で可決された一般会計9,669億5,700万円、特別会計2,386億7,600万円の暫定予算のうち、主なものをご紹介します。

【総務部】

- 新規 災害リスク予測システムを導入……………4,640万円
- 新規 県庁外来駐車場を一般に開放……………5,051万2千円

【企画・地域振興部】

- 新規 「大阪・関西万博」で「食の王国 福岡」の魅力を発信…3,709万2千円
- 平成筑豊鉄道沿線における今後の地域公共交通のあり方を検討……………1,879万1千円
- 日田彦山線沿線の地域振興を支援……………1億8,378万円

【人づくり・県民生活部】

- 新規 野生のサルによる人的被害対策を緊急支援……………703万3千円
- 大学におけるワンヘルス教育を推進……………1,089万2千円
- 新規 2028年世界卓球選手権団体戦の誘致を推進……………1,290万2千円

【保健医療介護部】

- ワンヘルスセンターの整備を推進……………46億3,280万7千円
- 「大阪・関西万博」で本県のワンヘルスの取組を発信……………3,508万円
- 高齢者の健康の保持増進と適切な医療の確保、介護保険の安定化を支援……………485億5,871万円

【福祉労働部】

- 新規 未来の保育の担い手確保に向けた取組を推進…1,956万9千円
- 新規 産前産後の家事・育児の負担を軽減……………1,211万7千円
- 新生児検査を充実し、疾患の早期発見により発症を防止……………1億200万円
- 障がいのある方の収入向上を支援……………958万2千円

【環境部】

- 県有施設の脱炭素化を推進……………5億449万6千円
- ワンヘルス体験学習・研究ゾーンを整備……………2億398万7千円

【商工部】

- 中小企業の円滑な資金繰りを支援……………融資総枠8,676億円（うち新規融資枠3,285億円）
- 新規 新たなスタートアップ支援拠点「グローバルコネクト福岡」を「CIC Fukuoka」に開設……………4,719万6千円
- 閑散期平日の観光誘客を促進……………1億6,675万6千円

【農林水産部】

- 活力ある高収益型園芸産地を育成……………14億4,816万7千円
- ため池等の安全対策を実施……………34億2,423万9千円
- 動物保健衛生所の整備を推進……………7億4,984万5千円

【県土整備部】

- 緊急輸送道路等を整備……………83億8,497万3千円
- 福岡市・北九州市へのアクセス向上を図る道路網を整備…52億2,395万1千円
- 産業振興や地域活性化の基盤となる基幹的道路網を整備…55億8,121万5千円

【建築都市部】

- 道路の渋滞緩和、歩行者の安全確保……………46億2,334万4千円
- 西公園に眺望を活かした展望施設を整備……………4億8,000万円

【警察本部】

- 新規 警察人材の確保を強化……………557万3千円
- 新規 警察の災害対応力を強化……………1,110万1千円
- 新規 新たな福岡武道館を令和8年1月に開館……………1,517万3千円

【教育委員会】

- 新規 中学生の英語力向上を推進……………1,042万2千円
- 高校生へ県内企業の魅力を紹介し、就職・進学を促進……………4,395万5千円
- 安全・安心と教育環境の向上につながる学校施設を整備……………178億9,224万7千円